

“ル・コルビュジエがつくった たくさんのもの”

ル・コルビュジエはスイスに生まれ、フランスで活躍した建築家です。人びとが幸せに、気持ちよく暮らすことを夢見て、住みやすい家やアパート、そして都市をつくりました。

絵や彫刻も大好きでたくさんの作品を残しました。どんなものがあるか探してみましょう！

START!
スタート!

私を目印に
さがしてね!



セクション1
「アートを生きる」



1 「赤いバイオリンのある静物」

- 絵の中に何を見つけれられるかな？
- どんな色があるかな？（例：レンガみたいな茶色、クリーム色・・・）

ル・コルビュジエは生活の中で身近なものをよく描きました。シンプルな形と色の組み合わせを工夫し、ものの美しさを表現しています。これらの絵を自分では「ピュリスム（純粋主義）」と呼びました。

- 美術館での3つの約束
- 作品にさわらない
 - はしらない
 - おしゃべりはしずかな声で
- 保護者の方へ
- ※このファミリーシートは、お子様と一緒にご家族でお楽しみください。
 - ※音声ガイド（無料）で解説をお聞きいただけます。お子様に助言を与えながら、一緒にお楽しみください。

セクション2
「住むための機械」



まだあるよ!

2 「サヴォワ邸」

- このおうちには柱で支えられています。柱があると、どんないいことがあるかな？

車をとめたり、人が通ったりできる自由な空間が生まれます。

ル・コルビュジエの考えた新しい建築の5つの提案

「ピロティ」・・・1階に車をとめたり、遊んだりできる！
「屋上庭園」・・・屋根が平らだから、植物を植えて、庭をつくることができる。
「自由な平面」・・・柱と壁の組み合わせによって、部屋の並べかたもより自由。
「水平に並んだ窓」・・・コンクリートの壁に窓をいっぱい並べて、日ざしがたっぷり入る！
「自由な正面デザイン」・・・シンプルでかっこいい顔をした家ができる。
※どれもル・コルビュジエが活躍した時代、技術の発達によって可能になりました。